

深井駅周辺地域の活性化について

【背景と目的】

○深井駅周辺地域には、行政機能や商業・サービス機能といった都市機能が集積していますが、駅の開業から半世紀が経過したことによる周辺環境の変化や、人口減少・高齢化、核家族化等、社会情勢が変化中、地域の魅力が徐々に失われている状況にあり、駅周辺地域を活性化し、拠点機能を強化することは、中区発展の喫緊の課題となっています。

○このような中、中区自治連合協議会が中心となり、「（仮称）深井駅周辺地域活性化プロジェクト勉強会」を立ち上げ、様々な課題について行政と共に意見交換を行い、駅周辺の市有地の活用を地域活性化の起爆剤とするなどの方針を示した基本構想が取りまとめられ、堺市に提出されました。

○本市においては、都市計画公園である水賀池公園の機能強化と、土地利用転換（民間活力の導入）による活用の検討を今年度より開始しており、多様な世代が集い交流する賑わいを創出し、水賀池公園を中区活性化の拠点となる施設とすることで、都市機能の向上を図り、中区の発展につなげていきます。

<経過>

- ・ 令和2年2月 「（仮称）深井駅周辺地域活性化プロジェクト勉強会」において検討を開始
- ・ 令和3年3月 深井駅周辺地域活性化プロジェクト勉強会による基本構想の策定
「中区地域計画」に「（仮称）深井駅周辺地域活性化プロジェクト」を位置づけ
- ・ 令和3年4月 深井駅周辺地域活性化プロジェクト勉強会から堺市へ基本構想を提出

<都市計画マスタープランの位置づけ（抜粋）>

○地域拠点・駅前拠点における都市機能の維持・向上
 深井駅周辺においては、市有地の利用転換などを推進し、市民の利便に供する商業・サービス機能の充実や、市内外からの来訪による賑わいに資する機能の形成を促進します。また、必要に応じて土地利用に係る規制緩和等を検討します。

【基本理念（3つの柱）】

地域資源の有効活用
 地域資源の価値を最大限に引き出すために知識・技術及び資本を結集させ、長期的視野と計画性を持って取組み、かつ最適化を検討する。

QOL（クオリティオブライフ）の向上
 生きがい、心身の健康、快適な住環境、レクリエーション活動等、さまざまな観点から生活の質を向上させる。

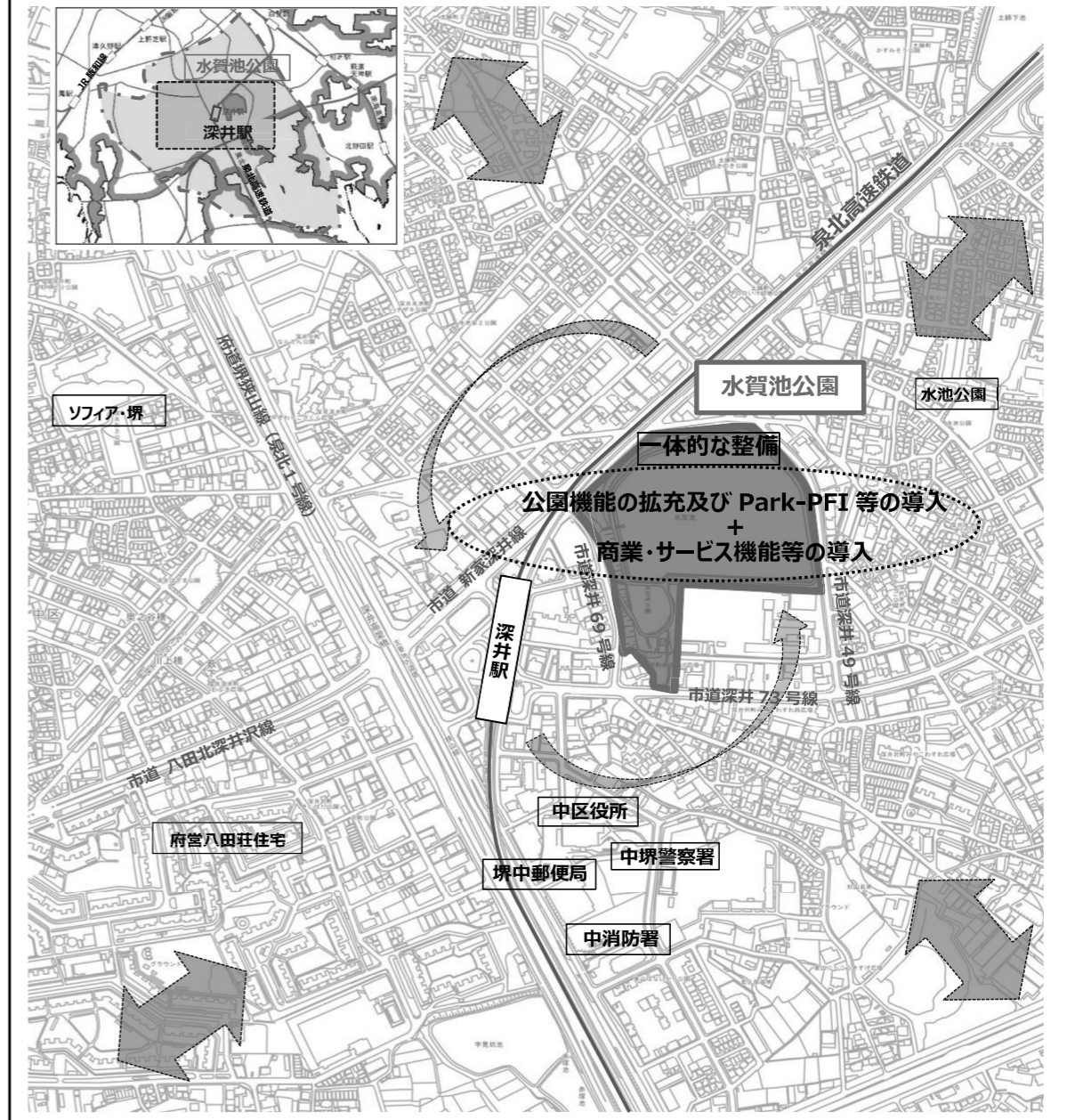
新しい生活スタイルの提供
 商業・医療・福祉・行政等、日常生活の核になり得る空間を創出する。

【基本方針】

深井駅周辺の市有地を利用転換し、地域活性化の起爆剤とする

<市有地の新たな活用による効果>

【位置図】



【公園整備（イメージ）】
 ・地区公園としての水賀池公園の整備及び機能強化
 ・Park-PFI 等の導入を検討

【導入機能（イメージ）】
 水賀池公園の土地利用転換（民間活力の導入）により、深井駅前に中区のシンボルとなる公園と商業・サービス・情報発信機能などが一体となった環境と共存した複合施設を整備することで、深井駅周辺地域の魅力を高め、多様な世代が集い交流する賑わいを創出し、地域拠点における都市機能を向上する。

【今後の予定】
 ○ 令和4年7月頃 都市計画変更素案の報告
 ○ 令和5年2月頃 都市計画変更案の付議